

幼児教育分野における派遣隊員支援と幼児教育協力の質的向上

課題実施機関 お茶の水女子大学

課題代表者名 浜野 隆

1. 事業の目的・方法

本事業は、幼児教育分野の青年海外協力隊の支援を通じた幼児教育協力の質的向上を目的とするものである。その目的達成のため、以下のような方法で隊員活動の支援を行なう：(1) 幼児教育分野の青年海外協力隊事業の広報・調査活動を行なう。(2) 派遣候補生や隊員が現地情報や国際援助動向について情報を得られるよう支援する。(3) 候補生や派遣中隊員からは質問を受け付け、それに応えるとともに内容をデータベース化し、「幼児教育協力 Q&A」を作成する。また、「幼児教育ハンドブック」を多言語化し、より隊多くの隊員が活用しやすいものにする。

2. 今年度の活動・成果

(1) 広報・調査活動

幼児教育分野は募集重点職種であるため、国内の幼児教育諸機関と連携し、幼児教育分野の青年海外協力隊事業の広報を行なった。昨年度に続き、公立幼稚園・私立幼稚園調査に対する広報活動は継続した。昨年度実施したアンケート調査を集計し、結果を幼児教育関連施設に報告した。保育者養成機関、保育所のスタッフに対する広報を実施した。

(2) 幼児教育分野の国際協力動向に関する情報集約・提供

隊員が活動する幼児教育の現場は、多かれ少なかれ現在の国際教育協力の世界的潮流の影響を受けている。本年度は、幼児教育分野の隊員が、世界の幼児教育の現場や国際協力動向を理解できるように「EFA グローバルモニタリングレポート 2007 年版(乳幼児のケアと教育)」フルレポートを翻訳・出版した。

(3) 派遣隊員への助言

すでに作成された「幼児教育ハンドブック」は、各訓練所からのリクエストに応じて送付し、候補生たちに配布されている。現在は「幼児教育ハンドブック[2]: 幼児教育協力 Q&A(一問一答集)」の作成が進行中である。派遣隊員からの質問を集約し、回答できるものについては回答を送付している。隊員の広域研修への助言、本学が実施している地域別研修(中西部アフリカ)への候補生の参加促進を通じて、派遣前情報の入手、派遣先スタッフとのネットワーク作りを支援している。また、「幼児教育ハンドブック」の多言語化を進め、昨年完成したフランス語版は各訓練所ですでに活用されている。また、帰国隊員の活動に関する助言も行なった。

3. 最終成果物に向けた進捗状況

「幼児教育ハンドブック[2] 幼児教育協力 Q&A」は、大きく分けて「基礎知識」と「実践」からなる。基礎知識の部分は、国際教育協力の歴史、ECDの取り組みと実際、途上国の教育環境の実情、日本の経験を活かす、協力隊幼児教育の派遣の歴史、日本の幼児教育と任国の幼児教育の違い、など。「実践」に関しては「活動の障壁(語学力の壁との戦い・活動が空回りする)」「マンパワーへのいらだち」「自己活動に対する過小評価」「活動後期のあせり」「異文化のなかで暮らす A. イスラム教の社会、B. 社会主義の社会」「現地の人との信頼関係を築く」「活動の幅の広げ方」「識字のための教材から子どもが楽しむ教材へ」などからなる。幼児教育隊員のみならず、他分野の隊員にとっても有益な内容を盛りこむようにしている。